

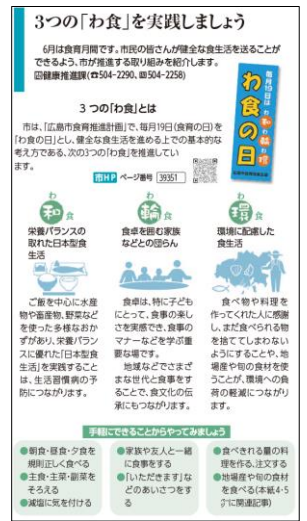
令和5年度 第4次広島市食育推進計画に係る主な取組（本市関係分）

1 わ食の日事業

(1) 「わ食の日」及び「3つの『わ食』」の普及啓発

市広報紙「ひろしま市民と市政」令和5年6月15日号の3面(右図)に、3つの「わ食」の啓発記事を掲載した。

また、毎月19日「わ食の日」にあわせ、市公式 X(旧 Twitter)や Facebook、LINE VOOM に、記事及び「わ食の日」啓発動画を投稿するとともに、6月の食育月間等にあわせ、デジタルサイネージ(右図)を活用した啓発動画の放映を行った。



(2) SNSを活用した「わ食」料理レシピの普及啓発

広島市公式SNS (YouTube、X(旧 Twitter)、Facebook、LINE 等)を活用し、「和食」や「環食」に関する料理レシピの周知を行った。

- ・ 広島市公式 YouTube チャンネル レシピ動画投稿数 (R5 年度)

栄養士おすすめレシピ	ひろしまそだちキッチン	食品ロス削減！エコクッキングレシピ
10本【全26本】	12本(投稿予定)【全24本(予定)】	3本(投稿予定)【全9本(予定)】
<p>栄養士おすすめレシピ</p> <p>広島市公式YouTubeチャンネル【The city of Hiroshima】</p>	<p>ひろしまそだちキッチン</p> <p>広島市公式YouTubeチャンネル【The city of Hiroshima】</p>	<p>食品ロス削減！エコクッキングレシピ</p> <p>広島市公式YouTubeチャンネル【The city of Hiroshima】</p>

(3) 保育園等給食における「わ食の日」の啓発

毎月19日の「わ食の日」には、「ごはん」・「魚料理」・「汁物」を組み合わせた献立とし、食育通信や展示食等を通じて日本型食生活の食事のよさ等について啓発を行った。

(4) 学校給食における「わ食の日」の啓発

毎月19日の「わ食の日」には、学校給食を一汁二菜等の和食の献立とし、児童生徒に給食放送や給食指導資料で、日本型食生活のよさ等の啓発を行った。

(5) 食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」の実施

令和元年10月に施行された「食品ロスの削減の推進に関する法律」において定められた10月30日の「食品ロス削減の日」に合わせ、直近の休日の10月29日(日)に、食品ロス削減を市民に呼び掛けるイベント「スマイル！ひろしま広場」を開催した(右図)。

また、公民館でエコクッキング教室を実施するとともに、市内大学と連携し、学生が考案した新たなエコクッキングレシピを作成し、学生主体のエコクッキング教室を開催した。

加えて、12月・1月(忘年会・新年会シーズン)に、食品ロス削減協力店のうち一部の飲食店において、料理を食べきった利用客へ広島広域都市圏ポイントを付与する事業「ぶちええね！食べきりキャンペーン」を実施した。

なお、エコクッキングレシピの紹介動画は3月中に公開予定である。



2 自然に健康になれる食環境づくり事業

(1) 元気じゃけんひろしま 21 協賛店・団体の啓発

ホームページやチラシにより、「元気じゃけんひろしま21協賛店・団体」の募集を行い、認定された協賛店・団体はホームページに掲載するとともに、啓発ステッカー等(右図)を配布し、市民に周知を図った。



(2) スーパーマーケットと連携した健康づくり

保健センターが区内のスーパーマーケット7店舗と連携し、店頭でのデジタルサイネージを活用した情報発信や、食生活改善普及運動啓発用POP(「バランスのよい食事」、「毎日プラス一皿の野菜」等)の食品売場への掲出等を行った。



3 食を通じてみんなで育てよう ひろしまっ子事業

(1) 図書の展示、おはなし会の開催

図書館において、食に関する図書・絵本の展示、おはなし会を行った。

(2) 家庭教育学級の開催

公民館において、季節にあわせた料理やお菓子づくり等、発達段階に応じた食についての講座等を実施した。

(3) 食育リーフレット・食育動画の作成

栄養バランスのよい食事や望ましい食習慣、食品ロスなど小学1年生から中学3年生まで各学年の学習内容に応じた内容の食育リーフレット(右図)を作成し、これを活用した食育の指導を各学校で実施した。また、同リーフレットに保護者向けの内容も掲載し、家庭への啓発も行った。

給食の時間や教科等の学習で視聴できる給食指導や食育に係る動画(右図)を作成し、順次各学校で視聴できるように、配信を行った。

食育リーフレット



給食指導動画



給食指導動画



(4) 「早寝早起き元気なあいさつ朝ごはん」運動の実施

- 生活リズムカレンダー(右図)の実施
- 保護者向けリーフレットの配付



4 若者世代のための食育啓発事業

(1) 若者世代のための食育教室等の開催

食育への関心が低く、健全な食生活の実践度が低調である若者に対し、適正な量と質の食事について学び、実践できる技術の習得を目的に、各区の保健センターにおいて、以下の取組を行った。

- 大学や専門学校と連携した講座や調理実習、健康展等を実施(下図、9回、1,118人)した。
- 乳幼児や小学生の保護者対象食育講座やイベント等の中で、保護者自身の食生活等に関する情報提供を実施(右図、39回、2,020人)した。
- 企業と連携し、従業員に対する健康講座等を実施(5回、144人)した。



(2) 令和6年二十歳を祝うつどいにおける健康づくりの普及啓発

若者が多く集まる「二十歳を祝うつどい」において、リーフレットの配布(400部、右図)やフォトスポットの設置(約200人、下図)、啓発動画の放映など、朝ごはん摂取や3つの「わ食」と健康づくりに関する普及啓発を行った。



5 九 サンマル 噛ミング30運動の推進

(1) 保育園等給食における「噛むこと」の啓発

よく噛んで食べることが習慣づくよう市立保育園等において、おやつに「いりこ」などの提供も行った。

(2) 区保健センターでの噛ミング30運動の推進

各区保健センターが行う乳幼児健診や育児教室等の歯科保健事業の中で、パンフレットの配布等により、よく噛んで食べることの大切さについて啓発した。

6 食と農と水産の体験活動推進事業

(1) 食農推進事業

食を支える地域農業の重要性について理解を深めるため、食農体験や小学校での食農に関する授業の支援等を実施した。また、食農体験を企画・運営する市民ボランティアである広島市食農コーディネーターの育成及び活動支援を行った。

(2) 水産業の体験学習会

市民の水産業への理解の促進を図るため、小学校を対象とした干潟の生物観察等や、小学3～6年生とその保護者を対象とした、プランクトンの観察、カキ養殖等についての学習会を実施した。

7 つなぐ・つながる地産地消推進事業

(1) 「ひろしま産 day」ひろしま地産地消の日の普及

「ひろしま産 day」をキャッチフレーズに毎月第3日曜日を「ひろしま地産地消の日」とし、市民へ地産地消の重要性について普及啓発した。



(2) 広島市内で生産される農林水産物である“ひろしまそだち”のPR

「ひろしま地産地消の日」を中心に“ひろしまそだち”地産地消ツアー等の実施や SNS等を活用した“ひろしまそだち”産品利用レシピの紹介、スーパー等における産品PR用のPOP掲示、イベント等でのPRにより、“ひろしまそだち”のPRを実施した。

(3) 広島湾七大海の幸PR事業の実施

地場産水産物の消費拡大のため、広島湾周辺市町、市中央卸売市場関係者及び漁業者等で構成する広島湾七大海の幸普及推進実行委員会において、「コイワシフェア」(右図)や「巡る広島湾七大海の幸スタンプラリー」等のPR事業を実施した。



(4) 学校給食における地場産物の活用促進

教育委員会と農政課・区農林課が連携し、たまねぎ、にんじん、パセリなどの“ひろしまそだち”を学校給食で使用する取組を行った。また、それらの食材を使用する日には、生産者の写真を掲載した資料を各学校に配付し、児童生徒への食育の指導に活用した。

8 ひろしま食育ネットワーク連携事業

(1) ひろしま食育ネットワーク参加団体に対する情報提供

ひろしま食育ネットワーク参加団体に対し、市や国、他団体の食育に関する情報や取組を、Eメールにより提供した。